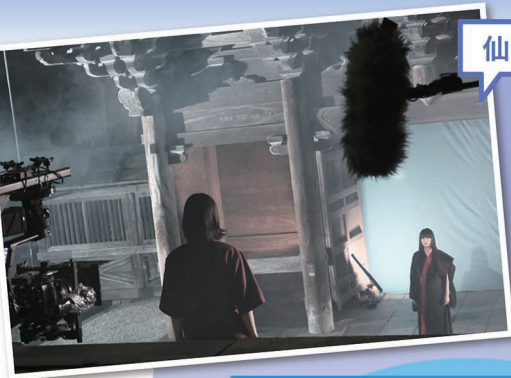


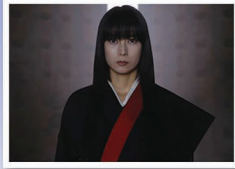
物語の舞台・三ツ瀬は宮城県!?

映画「天間荘の三姉妹」は宮城県内でも撮影が行われました。



仙台東照宮 (仙台市青葉区東照宮1-6-1)

夜明け前、天間荘の前に現れた三ツ瀬の門。門番のイズコ(柴咲コウ)が「さあ、お生きなさい」とたまえ(のん)をいざなう。三ツ瀬の門は、承応3年(1654年)仙台藩二代藩主伊達忠宗公によって創建された仙台東照宮にて、国の重要文化財に指定されている隨身門を三ツ瀬の門に見立てて撮影。



ロケの裏話

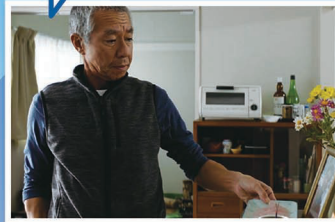
撮影は夜間に行われ、幻想的な雰囲気を出すために水蒸気のスモークを焚き、高所作業車で照明を当てるなど大掛かりな撮影となりました。幻想的な空間にたまえ通りかかった方は紅葉のライトアップと勘違い!?!仙台東照宮のご協力を得て深夜まで撮影が行われました。

女川町 (女川駅前広場・宮ヶ崎地区)



復興を遂げた三ツ瀬の街をたまえ(のん)と優那(山谷花純)の2人が歩くシーンは女川駅前広場で、一馬の父・源一(柳葉敏郎)が高台から街を眺めるシーンは宮ヶ崎地区で撮影。物語の舞台・三ツ瀬は実は女川町がモチーフになっているのかも…

大郷町 (大郷町総合運動場仮設団地)



源一(柳葉敏郎)が暮らす復興住宅の室内は大郷町総合運動場仮設団地の1室をお借りして撮影。お造りをつくるシーンは町内の寿司屋さんに魚裁きの指導をいただきながら撮影が行われました。

仙台うみの杜水族館 (仙台市宮城野区中野4-6)



ロケの裏話

リニューアルオープンした三ツ瀬水族館の新人トレーナーとしてデビューをしたたまえ(のん)。イルカのショーの観客役として初日は約700名、2日目は約200名、子供からお年寄りまで多くのエキストラボランティアが早朝から撮影に参加し、たまえの初デビューを見届けました。



エキストラの皆さんは、たまえの合図に合わせてイルカがジャンプする光景に拍手や声援を送るなど助監督の指示に従って演技を行い、場所によっては席を移動したり、カメラの移動や段取り確認で寒い中お待たせしたりもありましたが、皆さんのご協力のおかげで素敵なシーンが完成しました。

映画「天間荘の三姉妹」×「仙台うみの杜水族館」 タイアップイベント

会期 10月1日(土)～10月31日(月)

ロケ風景パネル展示や主演のんさんによる館内放送、限定コラボフードなど、映画の世界観を体感できるコンテンツが盛りだくさん! 詳しくはこちら>>>

※水族館入館料が必要です。



映画「天間荘の三姉妹」をより楽しめる宮城ロケの舞台裏は、
せんだい・宮城フィルムコミッションサイトをご覧ください。

こちらから



**せんだい・宮城
フィルムコミッション**